

(H/29.7.21 東京新聞)

(第3種郵便物認可)

頭部の模型を使ってエックス線写真撮影の方法を学ぶ高校生＝日野市立病院で



医療の現場体験

医師、看護師、薬剤師などを目指す高校生が病院のさまざまな仕事の見学、体験をするオープンホスピタルが二十日、日野市立病院で開かれた。

オープンホスピタルは、地域サービスの一環として三年前から毎年夏に開催。普段は一般の人が入れない現場も見学できて毎回好評という。今回は七十人の応募があ

医師や看護師など志す高校生

日野市立病院、16人受け入れ

り、市内外の一～三年生十六人が参加した。

参加者はグループごとに放射線科や内視鏡室、検査部、薬剤部、医事課などを回った。放射線科では、放射線技師がエックス線写真の撮影方法などを説明。高校生が頭部の模型を使って、どのような姿勢でどんなエックス線写真が撮れるのか確かめた。内視鏡室では内視鏡を持ってみたり、薬剤科では薬剤師の案内で製剤室を見学したりと、病院の幅広い仕事を学んだ。

看護師を志望する同市の高校三年、加藤風垂さん(こ)は「病院のことを知るため、いろんな科を見たくて参加した。放射線科は高度な技術が必要なんだと分かり、格好良いと思った」と興味津々の様子だった。

オープンホスピタルは二日間。二十一日は手術室などを見学する。(林朋実)